



令和5年度の振り返りと次年度に向けての方針

特定非営利活動法人 秋田県介護支援専門員協会 会長 小原 秀和

新型コロナウイルスも終息の兆しが見えてきましたが、この3年間、利用者様の生活継続の為に尽力されてきました介護支援専門員の皆様には心より敬意を表します。

さて、就任2年目となった令和4年度は、ACMAビジョン『秋田県民と介護支援専門員の未来創造』のもと、次の3つの事業方針を掲げ、職能団体としての活動基盤づくりをブラッシュアップしました。今年度より、介護支援専門員の法定研修（専門研修Ⅰ・Ⅱ、更新研修、主任CM研修、主任CM更新研修）を秋田県から受託・運営ができたことは当協会にとって大きなターニングポイントになりました。介護支援専門員の職能団体として人材教育・育成を担うことは必然であり、法定研修はその根幹です。法定研修実施主体としてその役割を担うことは、身が引き締まる思いですが、秋田県民と介護支援専門員の未来創造のために、しっかりと職能団体としての責任を果たしていきます。また、「ケアラー支援・普及啓発事業」においても、新たにSNS相談事業（ケアラーサポートLINE秋田）、オンラインつどいの場運営事業も受託しました。ケアラー支援という社会課題に対しても真摯に取り組んでいきます。そして、事務局体制についても、新たに職員2名を採用し事務局3名体制とすることでの運営体制の強化、秋田県からの事業を積極的に受託することでの財政基盤の安定化も図ることができました。会長に就任してあっという間の2年間でしたが、協会独立という変革期において、組織基盤構築という重要な任務をカタチにすることができ、ほっとしているのが本音です。すべては秋田県長寿社会課様からの手厚いご支援をはじめ、理事及び会員の皆様の献身的な活動への協力をいただいたおかげです。ご支援ご協力をいただきました全ての方々に感謝を申し上げます。令和5年度は役員改選もあり、新たな体制での協会運営となりますが、どんな体制になろうとも、やるべきことはこれまで積み重ねたことを更に進化させ、当協会が発展・永続化することです。会員一体オール秋田で創造していきましょう。すべては、秋田県民と介護支援専門員の未来と幸せのために...

【目次】

【巻頭言】秋田県介護支援専門員協会 会長 小原 秀和	1 P
【県内3地区協会活動紹介】	2～4 P
○県北地区：大館鹿角・北秋田・能代山本	
○中央地区：男鹿南秋湯上・秋田・由利本荘にかほ	
○県南地区：大仙仙北・横手・湯沢雄勝	
【各研修報告】	5 P
【ケアマネペシリレー】・【介護支援専門員実務研修受講試験結果他】	6 P
【秋田県介護支援専門員協会 運営活動報告】（事務局・部会等）	7～8 P

県内3地区協会活動紹介

○県北地区：大館鹿角・北秋田・能代山本
 ○中央地区：男鹿南秋湯上・秋田・由利本荘にかほ
 ○県南地区：大仙仙北・横手・湯沢雄勝

県北地区介護支援専門員協会

地区会長：佐藤 菫子（居宅介護支援事業所 おおだてハチ公）

事務局：佐藤 真弓（ケアプランセンター ひだまり）

TEL：0186-63-1664 FAX：0186-84-8260

地区会員：173名（令和5年12月31日現在）

【活動報告】

新型コロナウイルスの流行に伴い、福祉現場ではICT導入が当たり前となってきました。令和5年度の研修会はソフト面では多職種連携、ハード面ではICT活用をテーマに研修会を開催致しました。感染症の影響で限られたコミュニティで活動する事が多かったですが、集合研修も開催する事ができ、介護支援専門員同士の横のつながりを強固にする事ができたと思います。

【研修報告】

《第1回研修会》

日時：令和5年8月19日（土曜日）

開催：オンライン（32名）

テーマ：「地域包括ケアシステムにおけるリハビリテーションの役割～〇次予防で包み込む～」

講師：大湯リハビリ温泉病院 リハビリ室主任 大田 健太郎 氏

《第2回研修会》

日時：令和5年10月21日（土曜日）

会場：能代山本広域交流センター（23名）

テーマ：「これから変わらざる！県北おらほの医療連携」

講師：能代山本医師会病院 内科・消化器科部長 金田 英樹 氏

《第3回研修会》

日時：令和5年11月18日（土曜日）

開催：オンライン（18名）

テーマ：「医療・看護・介護の未来のために互いの理解を深めよう」

講師：有限会社クローバー薬局 専務取締役 研修認定薬剤師 和田 一幸 氏

《ICT活用研修》

日時：令和5年7月12日、9月20日、11月15日、令和6年1月17日、3月13日※全5回

開催：オンライン（延べ合計100名）

テーマ：「人も時代も仕事もチェンジしていく～変化を感じよう～」

講師：NPO法人タダカヨ

《介護支援専門員スキルアップ研修（スーパービジョン研修）》

日時：令和5年11月30日、12月21日、令和6年1月25日

開催：オンライン（3名）



中央地区介護支援専門員協会

地区会長：松本 慶一（居宅介護支援事業所ほっと）

事務局：三浦 秀己（光峰苑居宅介護支援センター）

TEL：018-868-1188 FAX：018-868-1189

地区会員：297名（令和5年12月31日現在）

【活動報告】

中央地区介護支援専門員協会では、役員の改選に伴い顔ぶれが変わりました。昨年度まで運営を担ってきていただいた役員の方々の支えのもと、新型コロナウイルスにより希薄になってしまった顔の見える関係性作りの再構築を念頭にできる限り集合型の研修を企画して参りました。しかし、インフルエンザや新型コロナウイルス感染症が爆り、会員の方々が参加しやすい研修方法であるオンライン開催が多くなりました。柔軟な対応をすることで多数の参加をいただき介護支援専門員としての資質向上に寄与できたのではないかと思います。

【研修報告】

○第1回 令和5年8月25日 ハイブリット型（参加者：74名）

内 容：意思決定支援を学ぶ～利用者の意思を尊重することとは～

講 師：介護老人保健施設ほのぼの苑 小林 顕 氏

ケアプランセンターおおたき 伊藤 政利 氏

○第2回 令和5年11月10日 オンライン型（参加者：104名）

内 容：支援者に求められる伝える力

講 師：ケアタウン総合研究所 代表 高室 成幸 氏

○第3回 令和6年2月9日 オンライン型（参加者：111名）

内 容：介護保険制度改正の動向

講 師：介護支援センターよつばの里 管理者 成澤 正則 氏

○秋田けあまね塾～1つ上のケアマネを目指すために～ オンライン型（参加登録者14名）

第1回：令和5年9月21日（木）「社会資源ってなんですか」

講 師：特定非営利活動法人あきた結いネット 理事長 坂下 美歩 氏

第2回：令和5年10月17日（火）

「ケアマネジメンの基本～利用者と家族、ケアチームを動機つけるマネジメント～」

講 師：ケアタウン総合研究所 代表 高室 成幸 氏

第3回：令和5年11月17日（金）「インフォーマルを活用した事例」

事例提供者：御所野地域包括支援センターけやき 管理者 石郷岡 良彦 氏

○あきたケアマネカフェ オンライン型 ※オープン参加（延べ参加者258名）

第1回：令和5年 4月28日（金）「ケアマネバックの携行品」

第2回：令和5年 5月26日（金）「5類になって変わったこと」

第3回：令和5年 7月14日、18日、21日「ケアプランデータ連携システム講習会」

第4回：令和5年 9月22日（金）「福祉用具について」

第5回：令和5年10月27日（金）「訪問看護について」

第6回：令和5年11月24日（金）ラインワークスの活用について

第7回：令和6年 1月26日（金）「訪問介護について」

○主任ケアマネサロン オンライン型（主任ケアマネ限定）（延べ参加者70名）

第1回：令和5年 5月19日（金）「これからの介護支援専門員に求められること」

第2回：令和5年 6月16日（金）「事例検討会～主任更新研修の事例を活用して～」

第3回：令和5年 7月21日（金）特別編「豪雨災害への対応と課題について」

第4回：令和5年 8月18日（金）特別編「災害時の連携と情報共有について～BCPの見直しや地域を越えた連携～」

第5回：令和5年 9月15日（金）「共生社会の実現を推進するための認知症基本法について」

第6回：令和5年10月20日（金）「パワーと影響について」

第7回：令和5年11月17日（金）「事例検討会～主任介護支援専門員による介護支援専門員への個別指導～」

第8回：令和6年 1月19日（金）「主任ケアマネに求められるスキル」

第9回：令和6年 2月16日（金）「第3回研修会の振り返り」

第10回：令和6年 3月15日（金）「事例検討会～主任更新研修の事例を活用して～」



県南地区介護支援専門員協会

地区会長：小原 秀和（介護老人保健施設 なごみのさと）

事務局：塚本 信太郎（すこやか横手居宅介護支援事業所）

TEL：0182-33-7777 FAX：0182-33-7722

地区会員：308名（令和5年12月31日現在）

【活動報告】

県南地区介護支援専門員協会では、新型コロナウイルス感染症5類感染症移行に伴い、培ってきたICTを駆使しながらも集合研修による臨場感のある学びの機会をつくりました。多数の参加を頂き、介護支援専門員相互の連携、知識・技術の研鑽及び資質向上に努めることができました。

【研修報告】

◇第1回 令和5年6月16日 集合型（参加者：85名）

内 容：介護支援専門員の未来のために行動すべきこと

講 師：秋田県介護支援専門員協会 会長 小原 秀和



◇第2回 令和5年11月30日 オンライン（参加者：71名）

内 容：伝えたいことを適切に伝えるコミュニケーション

講 師：Nバク氏



◇第3回 令和6年2月1日 集合型（参加者：135名）

内 容：9割バイトをおもてなしのプロに育てるディズニー流人財育成

講 師：香取感動マネジメント代表 香取 貴信氏



◇できるケアマネ養成塾 オンライン 令和5年10月4日 11月17日 12月1日（参加者：25名）

第1回：マインドセット編

講 師：秋田県介護支援専門員協会会長 小原 秀和

第2回：居宅／施設ケアマネ情報交換

講 師：県南地区介護支援専門員協会役員

第3回：医療連携のコツ

講 師：木村内科医院 院長 木村 靖和 先生

リハビリ専門職との連携ポイントとメリット 講師：社会福祉法人あけぼの会 在宅事業部課長 理学療法士 永富 慎之氏

◇横手地区 ケアマネジメント研修会 集合型 令和5年7月14日（参加者：61名）

内容①：分掌業務と高齢福祉事業について

講 師：横手市まるごと福祉課

内容②：GW「不足しているインフォーマルサービスとその作り方」



◇第4回 令和6年3月7日 集合型

内 容：働く人のメンタルヘルス講座

講 師：医療法人慧真会

臨床心理士・公認心理士・精神保健福祉士 浅沼 知一氏



研修報告(県受託分・協会自主研修)

研 修 名：ケアプラン個別点検アドバイザー養成研修（秋田県委託事業）	【R5.10.17 23名修了】
講 師 名：公益社団法人 青森県介護支援専門員協会 会長 木村 隆次 氏 特定非営利活動法人 秋田県介護支援専門員協会 理事 石橋 裕子	
アンケートより：・指導者研修の名目でしたが、自分自身のスキルアップにつながるような研修で、とても勉強になりました。指導者の立場として必要な情報が網羅されていたと思います。ありがとうございました。	
研 修 名：地域同行型研修（秋田県委託事業）	【R5.8.17・8.18・10.5 25名修了】
講 師 名：公益社団法人 青森県介護支援専門員協会 会長 木村 隆次 氏 特定非営利活動法人 秋田県介護支援専門員協会 理事 石橋 裕子	
アンケートより：・主任介護支援専門員、理学療法士、薬剤師の方に一度に同行訪問してアドバイスを頂ける機会はないのでとても貴重な経験になりました。適切なケアマネジメント、多職種と共同して利用者の自立した生活を支えることが出来るように、今後の業務に生かしていきたいと思います。	
研 修 名：事業所管理者向け研修（秋田県委託事業）	【R5.11.2 89名修了】
講 師 名：一般社団法人あたご研究所 代表理事 後藤 佳苗 氏	
アンケートより：・法令通知を個人で解釈することは難しいので、今回研修に参加させて頂き大変参考になりました。	
研 修 名：初任者フォローアップ研修（秋田県委託事業）	【R6.1.27 28名修了】
講 師 名：特定非営利活動法人ふくし@JMI 理事長 小湊 純一 氏	
アンケートより：・介護保険制度の基本理念を再確認するいい機会だった。ケアプラン作成時に、注目すべき点を勉強することができて良かった。	
研 修 名：復職者向け研修（秋田県委託事業）	【R6.2.3 8名修了】
講 師 名：特定非営利活動法人ふくし@JMI 理事長 小湊 純一 氏	
アンケートより：・以前受けた更新研修より情報が変わっていて、学び直す必要があると感じました。	
研 修 名：介護予防従事者研修（協会自主事業）	【R5.12.13 86名修了】
講 師 名：秋田県地域包括・在宅介護支援センター協議会 八峰町地域包括支援センター 主任介護支援専門員 原田 正胤 氏 大仙市高齢者地域包括支援センター 参事 渡部 千造 氏	
アンケートより：・資料、記載がわかり易く普段の自分の業務内容と照らし合わせる事が出来ました。	
研 修 名：ICTを活用した生産性向上スキル習得講座（協会自主事業）	【R6.2.28 67名修了】
第1部 『タブレット及び法人内連携ツールの活用におけるDX』～ICTを活用した利用者支援、業務改善～ 第2部 「背伸びしすぎたICT活用」	
講 師 名：なごみ居宅介護支援センター 矢野 仁志 氏 八峰町地域包括支援センター 管理者 原田 正胤 氏	
アンケートより：・タブレット導入による効率化やICTの活用について具体的な例を聞くことができた。	

秋田県連帯事業「ケアラー支援・普及啓発事業」

○令和5年度 普及啓発資料の作成・配布

普及啓発ポスター1000枚及び、ケアラーサポートLINE秋田PR用カード6000枚の制作・印刷を行いました。

○令和5年度ケアラー支援・普及啓発セミナー「ヤングケアラーについて理解を深めるセミナー」を開催し90名近くの方に参加いただきました。講師：NPO法人あなたのいばしょ 大空 幸星 氏

○令和5年度 ケアラーサポートLINE秋田 対応日：月曜日～金曜日 10：00～18：00

ヤングケアラーを含む、ケアラーの方が気軽に参加できるLINE相談窓口として、専門の知識を有する職員が対応し、必要に応じて関係機関へつなぐ役目を担っております。

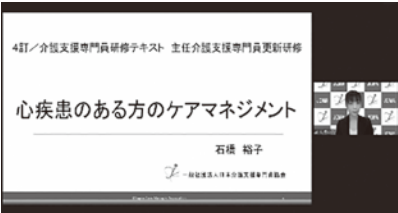
○ケアラーオンラインつどいの場：毎月第4木曜日 19：30～20：30 開催。ケアラー同士が気軽に・気楽に日常の悩みを吐露でき安心する居場所を提供することを目的にオンラインによるケアラーのつどいを開設しております。

○相談援助従事者研修「子どもたちに対する支援者としてのあり方を理解する」を開催し70名近くの方に参加いただきました。講師：一般社団法人ケアラーアクションネットワーク協会 持田 恭子 氏

ケアマネ・ペンリレー

「百里を行く者は九十を半ばとす」

りんごの里福寿園居宅介護支援センター
管理者 主任介護支援専門員 石橋 裕子



勢い余って…。という表現が相応しい。副会長である「佐藤菖子」さんも、そうだったと思います。昨年、日本介護支援専門員協会から新しいテキスト「心疾患のある方のケアマネジメント」の作成依頼があり、副会長の佐藤菖子さんと私が立候補という形で担当することになりました。そして、軽い気持ちで説明会に出席。ZOOM 画面上の、錚々たる執筆者の面々に驚愕し、

膝から崩れるほどの衝撃と、請け負った荷物の重さに、後悔した気持ちも正直ありました。ですが、途中で投げ出すわけにもいかず「乗りかかった船だから」と呪文のように言い聞かせ、粛々と進めてきました。定期的に「ZOOM の打合せ」という名目で「励まし合い」を重ね、残すところは動画撮影という大きな難関を超えて締めくくりを迎えます。頁数の制限のため図表が削除され、事例名が A さんと簡略され、正直複雑な気持ちもありますが大変さよりも色々な方の手助けのほうがい思い出されます。

専門課程Ⅰの事例は実際に私がご家族に言われて嬉しかった言葉「介護を通じて役割ができ、声を掛け合い、補いあうことができた。介護を通じて家族になれた」を経過記録に入れました。事例の名前は「春野桜子」でした。佐藤菖子さんの命名です。雪深い冬を超え待ちわびる春への思いを表す美しい名前でした。全国で使用されるテキストを秋田県介護支援専門員協会が作成しました。

「秋田県から全国に発信する」を体現させていただき、本当に有難く感じています。この広報が出来る頃にはテキストも動画も完成していることと思いますが、現状「百里を行く者は九十を半ばとす」この言葉がぴったりだと思っています。

石橋さんありがとうございます。次回は県北地区です♪

【インフォメーション】秋田県社会福祉協議会

令和 5 年度秋田県介護支援専門員 実務研修受講試験について

≪年度別 受験者数・合格者数・合格率≫

年度	受験者数	合格者数	合格率
令和 3 年度	614 人	111 人	18.1%
令和 4 年度	568 人	97 人	17.1%
令和 5 年度	568 人	80 人	14.1%

≪地域別（勤務先による）≫

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
県北	30 人	18 人	26 人
中央	54 人	51 人	34 人
県南	27 人	28 人	20 人
計	111 人	97 人	80 人

職種別合格者数		職種別合格者数	
看護師	6 人	社会福祉士	7 人
准看護師	3 人	介護福祉士	53 人
保健師	2 人	歯科衛生士	1 人
理学療法士	3 人	栄養士 (管理栄養士含む)	6 人
作業療法士	0 人	精神保健福祉士	0 人
薬剤師	0 人	柔道整復師	0 人
視能訓練士	0 人	相談援助業務	1 人

今年度の試験は令和 5 年 10 月 8 日に実施し、80 名の方が合格されております。合格者を対象とした実務研修では、新型コロナウイルスの影響が続く中ではありますが、従来どおりの訪問を伴う実習を行いました。御協力いただきました事業所の皆様に感謝申し上げます。

秋田県介護支援専門員協会 運営・活動報告

◆ 事務局 ◆

県協会からのお知らせ

昨年12月より、秋田県介護支援専門員協会のホームページがリニューアルいたしました。
<https://www.acma.jp/>

本年度より秋田県の委託を受けて、本会で介護支援専門員の登録管理業務を行っております。介護支援専門員証の更新や登録内容変更等についてのご相談は、本会事務局（018-893-4011）までお願いいたします。

会員情報の変更をお知らせください

引っ越し・転職・異動等に伴う会員情報（自宅住所、勤務先等）の変更の際には、届け出をお願いしています。所定の様式（「届出変更書」）にご記入の上、各地区事務局まで提出願います。

◎ 研修部会 ◎

令和5年度の法定外研修は、前年度の研修事業を継続し、秋田県長寿社会課より委託を受けている「地域同行型研修」「ケアプラン個別点検アドバイザー養成研修」「初任者フォローアップ研修」「事業所管理者向け研修」「復職者向け研修」、協会自主企画の「介護予防従事者研修」「ICTを活用した生産性向上スキル習得講座」の7事業をブラッシュアップしながら開催してきました。その他にも、秋田県からケアラー支援・普及啓発事業を受託し、県民がケアラーに対する理解を深めるためのセミナーやケアラー支援体制を拡充させるため相談業務従事者向けの研修等を開催したほか、ケアラー同士が日常の悩みを共有し、安心できる居場所を提供するため「オンラインつどいの場」を月1回開催したほか、SNSによる相談窓口も設置し、普及啓発資料を制作・配布しながら相談に応じました。年度末には、東北ブロックを取りまとめし「東北ブロック研修」を企画・開催したほか、日本介護支援専門員協会と連携し、サテライト3会場を設けて「介護報酬改定説明会（リアル配信）」を開催いたしました。

各研修事業に多数のご参加をいただきましたことに心より感謝申し上げます。研修実施状況の詳細については、本誌「研修報告」に記載しております。また、秋田県介護支援専門員協会ホームページにも掲載しておりますので是非ご覧ください。

◎ 調査研究部会 ◎

令和5年度は、調査テーマや内容について考え、何のために調査・研究を行うのか、何に繋げていくのかを検討しました。今年度は、主体となる調査活動はありませんでしたが、介護保険以外の医療や福祉等の領域のほか、ケアラー支援等も含め、改正された制度や新たな政策、社会資源等についても視野を広げ、その動向を定期的に把握してきました。今後も継続して、日々のケアマネジメントの実践のあり方を見直すために取り組んでいければ良いのではないかと考えています。

◎ 相談部会 ◎

令和5年度は県内で働く介護支援専門員に対する相談窓口としてどのような活動が望ましいか考え活動をしてきました。参集型の研修等がなかなか開催しづらい状況下で、研修参加時に相談ブースを設けることなどもなかなか難しく、今後はICTを活用した相談窓口などを検討していきたいと考えております。介護支援専門員が活躍できる環境を支える事に取り組んで参ります。

◎ 災害対策プロジェクト委員会 ◎

令和5年7月に秋田県で大雨による被害があり、県北地区・中央地区・県南地区の会員の皆様へLINE WORKSにて連絡を取り合い被害状況や対応状況など情報を共有し、日本介護支援専門員協会へ状況報告を行いました。今後も災害対策支援の基本的な考え方の周知。県、市町村や地域包括支援センター等、他の関係機関や団体との連携。地区支部、都道府県支部、日本介護支援専門員協会との連携（被災状況の報告や支援要請）など、職能団体の重要な役割と捉え活動をすすめていきたいと思っております。

◎ 広報部会 ◎

広報部会では、『秋田県介護支援専門員協会ホームページ』の更新と共に、『Facebook』を通じて会員及び県民の皆様幅広く情報提供をしております。また『LINE WORKS』を通じて会員の皆様に情報提供も行っており登録を行って頂ければと思います。各種研修会（事業所へ配布されていない研修情報）及び最新の情報等については、ホームページやFacebookをご覧ください。

[秋田県介護支援専門員協会](#)[検索](#)

第22号（発行日 令和6年 3月31日） 年1回発行

発行 特定非営利活動法人 秋田県介護支援専門員協会

事務局 〒010-0922 秋田県秋田市旭北栄町1番5号 秋田県社会福祉会館 3階

Tel: 018-893-4011

Fax: 018-893-4012

E-mail: acma@acma.jp

ホームページ: acma.jp

広報部会 清水 文明（県北地区介護支援専門員協会） 佐藤 真弓（県北地区介護支援専門員協会）
川端 洋祐（中央地区介護支援専門員協会） 畠山 北光（中央地区介護支援専門員協会）
渡部 勝（県南地区介護支援専門員協会）